



報道関係者 各位

令和6年1月25日
名取市図書館

令和6年能登半島地震の 応援コーナー設置について

名取市図書館では、東日本大震災からの恩送り・図書館が取り組むことができることに注目して、特設コーナーを1月6日から以下の内容で実施しています。

記

あの日を
忘れず、共に
未来へ。

【タイトル】「令和6年能登半島地震で被災した方々を応援しましょう」

テーマ：恩送り、被災地に思いを寄せる、石川県を知る、一日も早い日常を

【内容】

・募金箱の設置

名取市社会福祉課から、日本赤十字社の募金箱が届き、令和6年12月26日まで設置。
実施中のエピソード

設営中から、利用者の方から千円札の募金がありました。また、未就学児を持つ若い夫婦が、夫は千円札、妻はお財布から硬貨を大量に募金してくれました。その理由をたずねると、「私達も被災したから、何処かで繋がっているから、日常が早く取り戻されることを願い募金をしました」と淡々と話されていました。1日で5千円、多いときは8千円以上の募金が寄せられています。

・石川県の関連図書コーナー 150冊以上

石川県の魅力・郷土や歴史が書かれた本、石川県にゆかりのある作家や題材にした小説。
→泉鏡花・徳田秋聲・唯川恵（金沢市生まれ）、杉森久英・戸部新十郎（七尾市生まれ）

・被災地に思いを発信！（1/19～）

来館者に被災地へのお見舞いの言葉と元気が出るメッセージを書いてもらい、館内展示、HPとSNSで発信し、被災地が元気を取り戻すきっかけ、被災地への関心、支援の機運に繋げていく。



メッセージを書く子ども

展示の状況（今後も出来ることを展開する予定です）

【問い合わせ】

名取市図書館 担当：加藤
TEL：022-382-5437（直通）